



# JET プログラム経験者の活躍 ～ PC としてクリアで活躍中です！～

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

今回は、JET プログラム事業部に勤める JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）経験者のプログラム・コーディネーター（PC）に、プログラムに参加した当時の思い出や、現在の業務などについてインタビューしました。

## プロフィール



**Maria Nikolaeva**  
(マリア・ニコラエフ)

元外国語指導助手（ALT）（青森県）

任用期間：2017年～2022年

出身国：ロシア

所属：調整課

### Q：JET プログラム参加時の業務は何でしたか。

最初の4年間は、青森南高等学校でロシア語のALTを務めました。授業の補助のほか、ロシア語やロシア文化に関わるさまざまなイベントの企画・実施を行いました。

その後、最後の1年は青森県庁で取りまとめ団体アドバイザー（PA / Prefectural Advisor）を担当しました。

### Q：印象に残っている当時のエピソードはありますか。

ロシア語のスピーチコンテストに参加する生徒のサポートで北海道や東京に出張したことはいい思い出です。中でも北海道で開催されたコンテストではロシアのダンスを参加者・関係者全員で踊る企画があり、印象深かったです。

また、青森南高等学校が私の地元であるロシアのサンクトペテルブルクの高校と交流があったことから、生徒のロシア訪問のアテンドを行ったこともありました。ロシアにはハグの文化があるのですが、当初は恥ずかしがっていた日本の生徒が、次第にその文化を受け入れ、最後には進んでロシアの生徒と抱擁を交わしていました。このときの彼らの幸せそうな笑顔は忘れられません。

### Q：クリアでの主な業務は何ですか。

JET プログラム事業部の調整課に所属しており、メイン

の業務は世界中の JET プログラムの応募者から来る情報の整理です。さまざまな国の在外公館と連携しながら仕事を進めるなかで、JET プログラムのスケールの大きさを実感しています。

### Q：クリアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。

在外公館や各国の在日大使館と協力するなかで、ずっと携わりたかった国際交流分野に従事できていることに、やりがいを感じています。また、さまざまな国出身の PC や日本全国各地の自治体から派遣されている日本人職員とともに仕事ができる点に魅力を感じています。

### Q：今後の抱負をお願いします。

JET プログラムやクリアで培ってきたスキルを活かして、引き続き国際交流の推進に携わっていきたいと思います。



旅先の神社でかわいいオブジェを見つけました

## プロフィール



**Quinton Moorhead**  
(クイントン・モアヘッド)

元外国語指導助手（ALT）（千葉県大網白里市）

任用期間：2018年～2022年

出身国：アメリカ

所属：調整課

### Q：JET プログラム参加時の業務は何でしたか。

主な業務は小学校2校と中学校1校での一般的なALTの業務でしたが、週に1回、地域の方々が集まる公民館での英会話教室も担当し、貴重な経験を積むことができました。

### Q：印象に残っている当時のエピソードはありますか。

私は自然災害が少ない州から来たので、2019年に大



きな台風が千葉県に来たときに、学校が休校になったにもかかわらず、全職員が被害を受けた学校に集まり、みんなで片付けをしたり生徒に水を配ったりしたことがとても印象的でした。また、2020年に私の祖母が日本を訪れたときに、公民館の英会話教室の生徒さんがおもてなしをしてくださったことも一生の思い出です。



祖母と英会話教室の皆さんとの待望の出会い！

**Q：クリアでの主な業務は何ですか。**

私はJETプログラム事業部の調整課でさまざまな業務を行っていますが、メインはJETプログラム終了後のキャリア支援です。

**Q：クリアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。**

私がJETプログラムに参加していた頃に、クリアが提供している全てのキャリア支援関連イベントに参加し、私の将来やキャリアのために役立つ情報をたくさん得ることができたので、今はそれらのサポートを提供する側にいることでやりがいを感じています。

**Q：今後の抱負をお願いします。**

クリアでの任期が終わっても日本で頑張りたいと思っていますが、就職の方向性がまだ決まっていないため、現時点では幅広く使える資格を取得することに専念しています。2025年の夏に就職活動を円滑に行えるように、今年は自分磨きだけではなく、本当に自分がやりたいことをよく考えていきたいと思っています。

**プロフィール**



**Tristan Clément**  
**(トリストラン・クレマン)**  
元国際交流員 (CIR) (奈良県香芝市)  
任用期間：2021年～2023年  
出身国：スイス  
所属：研修・カウンセリング課

**Q：JETプログラム参加時の業務は何でしたか。**

香芝市にいたときは、日本人住民向けの業務がほとんどでした。スイスやヨーロッパの文化を紹介する、親子

向けの「異文化理解セミナー」では、工作をした後、スイスの文化について紹介しました。例えば、12月のイベントでは、フランスで有名な遊び「塩粘土」でデコレーションを作り、その後、ヨーロッパで祝われる「聖ニコラウスの日」について話しました。

そのほかには、出前講座も行いました。市内のさまざまな住民団体に、スイスの文化について1時間程度で講座を実施しました。私は、講座の最後には、その団体に関連したスイスの情報を添えるようにしており、例えば、「手話サークル」向けの講座では、スイスの手話を見て、言葉を当てるクイズを取り入れました。

学校訪問も多く実施しました。保育所と小学校がメインだったので、大人向けの講座とは異なり、Google Earthを活かして、スイスや世界のさまざまな場所を見せながら楽しく行いました。



ウィリアム・テルの読み聞かせの様子

**Q：印象に残っている当時のエピソードはありますか。**

子どもとふれあう時間が多く、とても楽しかったです。ある日、市の職員に声をかけられ、給食の「国際週間」にスイスの料理を出さないか打診されました。私はツーリッヒャー・ゲシュネッツェルテス（チューリッヒの伝統料理の細切りにした牛肉のクリーム煮）を提案し、学校でスイスについて紹介した後、児童の皆さんと一緒に給食を食べることができました。皆さんは好奇心旺盛で、スイスについてたくさん質問をしてくれました。

**Q：クリアでの主な業務は何ですか。**

現在は主にスポーツ国際交流員 (SEA) 関連事業と日本語能力試験 (JLPT)、メンタルヘルスカウンセリングの助成金を担当しています。

**Q：クリアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。**

参加者として関わっていたクリアの事業を当時の目線を活かして改良し、プログラムに貢献できることにやりがいを感じます。

**Q：今後の抱負をお願いします。**

これからも、自分のスキルを伸ばしながら、JETプログラムに貢献できるように頑張ります。